

主な活動

⑨

看板設置

城山町設立40周年記念事業として魅力ある町づくりをするアイデアは何かないか、という観点から城山町の素晴らしさを町内外に発信する看板の製作を企画しました。その狙いは、住民に町の魅力を再認識し自覚してもらうことと同時に、城山を来訪される皆様の目に触れ、高崎にはこんなに素晴らしい、素敵な町があるのだなと気づいていただき、その評判を広げていただくことです。

ではその訴えたい町の魅力は何かと考えると、第1に、春は新緑、秋は紅葉が楽しめる町を囲む緑豊かな自然環境が上げられます。第2は、住民が植樹した300本を超える桜並木と主要道路沿いのハナミズキが早春に咲きそろふ美しい花々でしょう。記念事業として新設した、街路沿いの花壇には年中美しい草花が咲く町になります。そして第3は、2017年にユネスコの記憶遺産に登録された金井沢の碑と戦国時代に築城された茶臼山城址に隣接している立地が上げられます。これらの特徴をまとめて「花と緑と歴史にかこまれ暮らす城山」というキャッチコピーを決定し背景に桜とハナミズキ並木の写真を挿入することにしました。看板製作は、茶臼山城址の案内看板を製作さ

れた片岡町の「アド・マツモト」様に設置工事を含めお願いしました。設置は町内入口2カ所の目立つ場所を選びました。

次に、看板設置は決まったものの畳1畳ほどの大きな看板ですので念のため市役所に許可申請をしました。その結果、町の広告デザインの下に城山団地案内図を追加することと指定サイズ以下を守ることを条件に許可されました。この認可にあたっては、40周年記念事業実行委員会顧問の松本県議や白石市議のご協力を頂きました。看板設置費用は市の「活き活き地域づくり推進事業補助金」を活用できたため町内負担はほとんど無く実現できています。

この看板を日々目にするにより城山町の恵まれた環境を再認識し、素晴らしい環境に住んでいるのだという自覚を持ち、いつまでも住み続けたい町だと思える人が増えることを願います。またこの町の魅力を外部に発信することにより、将来、町の住人が少しでも増えていくきっかけになれば幸いです。

(宮部 幸一)

